

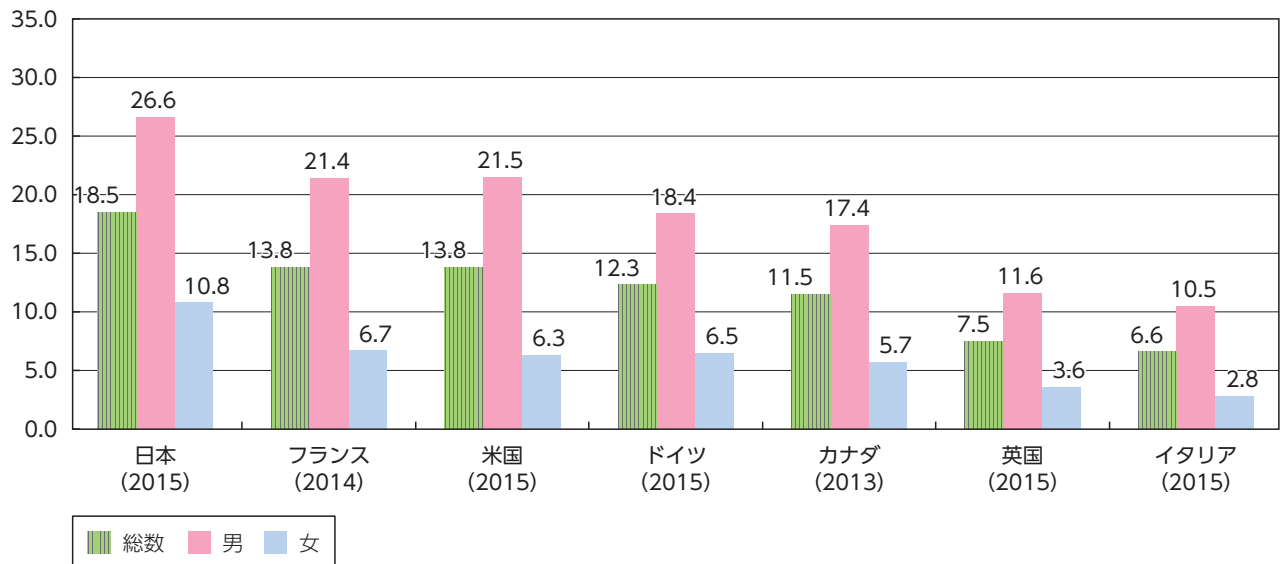
10 国際的に見た自殺の状況と外国人の自殺の状況

(1) 国際的にみた自殺の状況

先進国（G7）の自殺死亡率について世界保健機関によれば（第1-35図）、日本18.5、

フランス13.8、米国13.8、ドイツ12.3、カナダ11.5、英国7.5、イタリア6.6となっている。

第1-35図 先進国の自殺死亡率



資料：世界保健機関資料（2018年9月）より厚生労働省自殺対策推進室作成

世界保健機関の統計によれば、諸外国の自殺死亡率は、総数ではリトアニアが28.8で最も高く、次いで、ガイアナが27.7、韓国が26.5と続いており、我が国は、総数では9番目に高くなっている。男女別にみると、我が国は、男性が15番目、女性が4番目となっ

ている。我が国の年間自殺者数は男性が7割を占め多く、諸外国をみても男性の方が自殺死亡率は高くなっているが、諸外国との比較で見ると、我が国の女性の自殺死亡率の高さが目立っている（第1-36図）。

第1-36図 諸外国の自殺死亡率（参考）



注) 世界保健機関資料（2018年9月）から、2013年以降の人口と自殺者数が掲載されている国を対象に自殺死亡率を算出し、上位20か国を表示している。

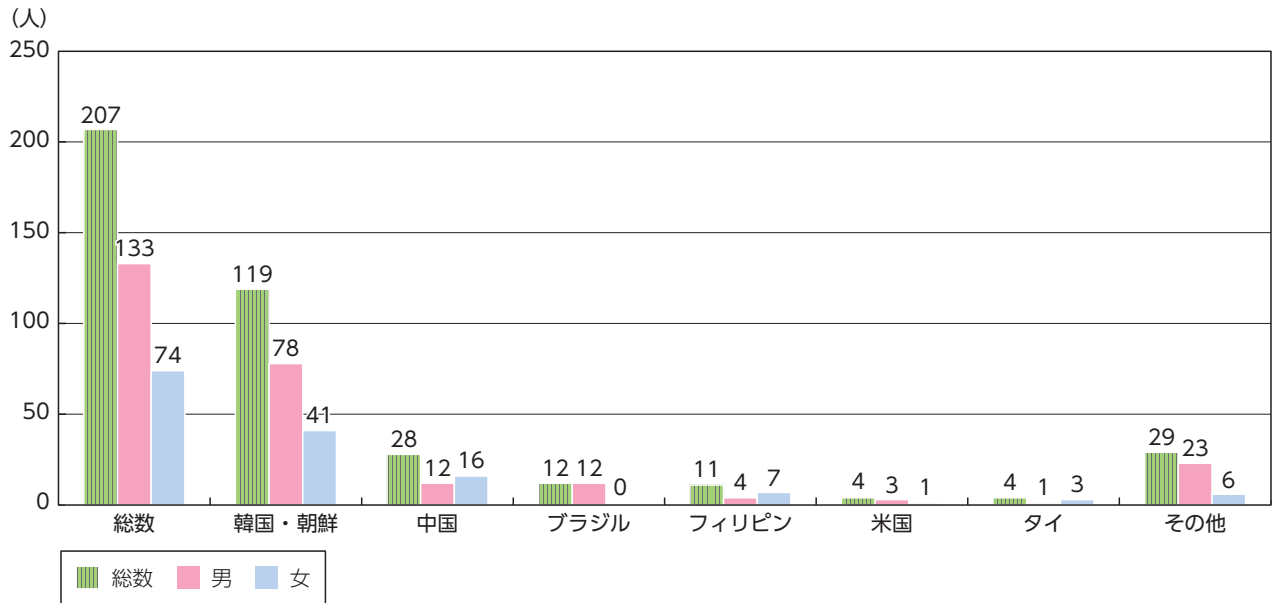
資料：世界保健機関資料（2018年9月）より厚生労働省自殺対策推進室作成

(2) 外国人の自殺の状況

人口動態統計によれば（第1-37図）、平成29年における国内の外国人の自殺者数は207

人で、国籍の内訳では、韓国・朝鮮が119人で57.5%を占めている。

第1-37図 平成29年の日本における外国人の自殺者数



資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成